

進む都市基盤整備事業

立命館大阪いばらきキャンパス

4月開校に向け順調に工事進む、市民開放施設は1000人規模収容のホールや図書収蔵能力最大80万冊、閲覧座席約1100席。学生・教職員だけでなく、市民にも開かれた総合図書館。レストランでは普段の食事からパーティまで新しいキャンパスライフを楽しめる施設が完成します。ホール等の予約は昨年の10月から受け付けています。詳細は立命館にお問い合わせください。



立命館大阪いばらきキャンパス

仮称総持寺駅

2018年(平成30年)春開業を目指しJR総持寺駅は旗津富田駅-茨木駅間に建設予定であり現在駅舎予定地の庄1丁目付近の線路付け替え工事が進んでいます。駅前には既にマンションが1棟建設され既に入居されているようです。続いてマンションの建設工事が進められ駅前の様子が変わっていく様子が見えます。



(仮称)JR総持寺駅前工事風景

新名神建設

平成28年度末開業を目指し工事は急ピッチで進められています。昨年7月には建設現場裏面トンネルの視察を行いました。新名神で最も長い延長約5,000mのトンネルを視察、続いて茨木北IC工事現場を視察、さすがにNEXCOの工事は規模が大きく現場は機械マシンが動き安全対策に配慮した工事現場でした。30年40年前とは随分現場の様子が

変わったものである。また環境に配慮した現場風景には関心しました。



箕面トンネル工事風景

安威川ダム工事

昨年の洪水で氾濫水位を超え避難勧告を発令した茨木市である。何よりも市民の安全を第一優先に考えるとダムは一刻も早く完成させなければなりません。昨年の10月より本体工事がようやく着工され現在の様子は写真の通りでありますが、完成は平成32年度の予定である。このダムは都市近郊ダムとしては日本一都市に近いダムとして位置づけられている。大阪府は早期完成を目指し工事を前倒しして進めるべきである。



安威川ダム本体工事風景

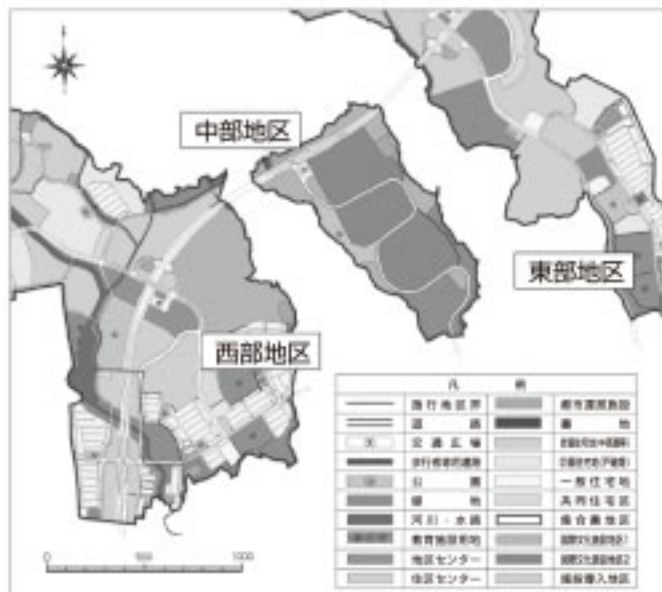


茨木北IC工事風景

彩都地区

昨年末に読売新聞から街開きして10年が経ち、当初計画からすれば2012年度までに5万人を目指した人口は4分の1にも届かず、計画は大幅に遅れていると指摘されている。が完成したエリアは、活気のある素晴らしい街になってきている。中部地区は、西部地区の彩都ライフサイエンスパークと並ぶ彩都のシンボルゾーンで、国際的な自然文化・学術研究の新しい交流拠点の整備と併せて、ライフサイ

エンス分野やイノベーション的な企業が集積をめざしています。平成24年6月から本格的な造成工事が開始されており、平成27年春には最初の造成が完了する予定で工事が進んでいる。東部地区は現在民間開発による申請が47・1haと25haありいずれも物流の拠点となる予定です。



市民会館今年12月末で閉館

市民会館は昭和44年に開業してから45年が経ちます。多くの市民に親しまれ利用されてきた市民会館が耐震基準に適合しない事と、設備が現在の状況にそぐわない事から閉館を決定しました。今後は6月から立命館大学のホールが市民の皆様にも利用出来ることになっております。閉館後の予定はまだ決まっておりません。今後市内の関連施設と合わせて計画を立てなければならぬと考えております。



現在の市民会館

老人福祉センターを多世代交流センターに改変

高齢者及び子ども世代の活動を支援するともに、高齢者の活動拠点や子育て支援の場を設け市民福祉の向上を図るため、福井・西河原・葦原・沢池・南茨木を多世代交流センターに改名し、施設内には介護予防センター、シニア交流センター、こども交流支援センター、共用ルームが設けられ4月より利用が出来ます。

また桑田荘については茨木市高齢者活動支援センター「シニアプラザいばらき」となり高齢者の企画や支援事業の拠点となります。ご利用の詳細については市福祉政策課までお問い合わせください。

相談会の実施

毎月第三土曜日の午後1時30分から4時30分までの間市民の皆様を対象に相談を行っております。会場は水尾コミュニティセンター1階の会議室をお借りしておりますので時間は空いている時にご相談いたします。お気軽にご相談や要望をお聞かせください。



相談会風景

今後の活動予定

市政報告会

- 第37回 平成27年 3月28日(土)
- 第38回 平成27年 6月27日(土)
- 第39回 平成27年 9月26日(土)
- 第40回 平成27年12月19日(土)

いずれも水尾コミュニティセンターで午後2時～予定しています。

市民相談会

○毎月第三土曜日
いずれも水尾コミュニティセンターで午後1時30分～午後4時30分まで予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。